

参加
無料

9月24日
名古屋
開催

SDGs ダイバーシティ ワークライフバランス

等の時代背景に対応する研修のご紹介

SDGs、ダイバーシティ、ワークライフバランス等、令和の時代に対応しなければならない社会の潮流は、地方公共団体の組織の在り方や政策課題に大きな影響を与え、職員各人には多様な課題をとらえることや柔軟な発想が求められています。一方で、政策の有効性や説明責任に応えるため、情報や統計等のデータを活用したEBPM（証拠に基づく政策立案）も目指さなければなりません。

この説明会では、人材育成に携わる皆様に、こうした課題に理解を深めたり、時代に求められる政策形成力の向上につながる研修テーマを本会各講師がご紹介いたします。今年度、或いは次年度の研修企画のご参考に、ぜひご参加ください。

【第1講】 10:30～ 北野 清晃 講師 『右脳的思考×左脳的思考で拓げる企画力』

1. 思考の罫
2. なぜ企画力なのか？
 - ・企画の大前提
 - ・企画の実践サイクル
3. 企画に役立つ思考と技術
 - ・思考と技術を混同しない
 - ・論理的思考と直感的思考

【第2講】 12:50～ 水野 順子 講師 『女性活躍推進を支援する職員研修のコンセプト』

1. オリエンテーション
 - ・バイアスに気づくアイスブレイク
2. 今、女性活躍が求められる背景
 - ・社会環境の変化と女性活躍推進
 - ・女性活躍推進法とは
 - ・SDGsとダイバーシティ
 - ・地方公共団体に女性活躍推進が必要な理由
3. これからのキャリアを考える
 - ・自身の価値観を知る－キャリア・アンカー理論
 - ・変化に対応できる力を持つ－計画的偶発性理論
 - ・ワーク・ライフ・バランスを考える－統合的人生設計

【第3講】 14:10～ 細川 甚孝 講師 『エビデンスに基づく政策形成力強化』

1. なぜ今エビデンスなのか？
 - ～ファクトからの施策形成のあり方
2. PDCAからCAPDへ ～トライ&エラー型へ
3. 基本的論理として
 - インプット・アウトプット・アウトカム
 - ～他自治体でのトライの検証
4. 社会実験の可能性
 - ～ランダム化比較試験の可能性と実践
5. ケーススタディによるエビデンスに基づいた政策形成ワークショップ

【第4講】 15:30～ 本間 直人 講師 『行政におけるAIとIoT』

1. AI化・IoT化の概要
 - ・どんな技術なのか
 - ・過去の技術革新がビジネスに与えた影響を振り返る
 - ・AIのできること、できないこと
2. 行政とIoT～住基カード、マイナンバーをふまえて
 - ・どのような行政分野に影響があるか
 - ～医療保険、施設管理、運行管理、窓口業務、学校教育、RPA等
3. AI、IoT時代のセキュリティ対策
4. 残る“人”の重要性
5. OffJTの重要性

【講師紹介】

株式会社 北野商会 代表取締役
ワークショップデザイン研究所 北野 清晃 氏

金沢大学大学院を修了後、都市計画コンサルティング会社に入社。計画策定業務やまちづくりワークショップの企画運営に携わる。その後、人材育成を支援する公益法人にて研修やセミナー、シンポジウム等の企画業務に従事。その後、京都大学大学院博士課程にて組織デザイン等の研究活動に取り組む。現在は企業や自治体の組織開発、製品サービス開発プロジェクトや、人材育成に活躍中。

株式会社 キャリアコレクション
代表 水野 順子 氏

埼玉大学経済学部社会環境設計学科卒業。公務員として福祉部にて従事した後、民間企業へ転身。外資系大手人材サービス会社にて営業・キャリアコンサルタントとして勤めた後、独立。現在まで一貫して「人生とキャリア」の相談・支援を続けている。また、60,000人以上への講演・研修にて、ストレスケアや人間関係の築き方からライフプランまで含めたキャリアライフ支援を行っている。

有限責任事業組合 政策支援
代表組合員 細川 甚孝 氏

大学卒業後、CIS計画研究所入社。その後、官公庁の施策立案に関する調査、研究を主とし活動し、総合計画や行政改革、行政評価手法の策定等に尽力する。その他、官公庁を中心とした地域活性化や教育、産業振興なども企画から実際の策定を担当するなど、行政運営、地域活性化を専門としたコンサルタントとして活躍。研修講師、政策プランナーとして全国にて各種指導を行っている。

合資会社 ホンマ・ドットコム
代表 本間 直人 氏

1987年、防衛庁技術研究本部に勤務。人工知能などコンピューターの認識に関わる開発に従事する。認識について学ぶため、コミュニケーション、認知心理学、脳科学などを研究。2000年、合資会社ホンマ・ドットコム設立。コーチングやファシリテーションを用いて、企業や官公庁の管理職研修、若手リーダー向けの後輩育成研修などを始める。笑い溢れる、ユニークなプログラムが好評を博している。

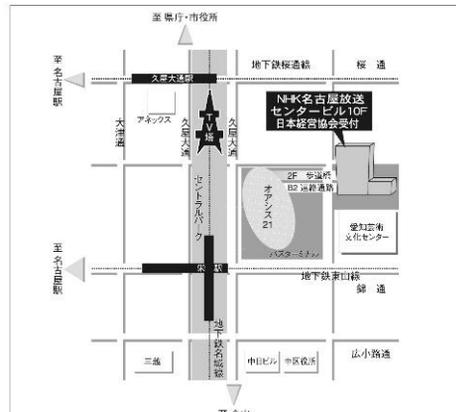
【申込要領】

日時 令和元年9月24日(火)
10:30~16:50 受付 10:15開始
対象 地方自治体・公的団体等の人事教育部門担当者
・各部門教育担当者の方々

参加料 無料
会場 NHK名古屋放送センタービル内NOMA専用教室
定員 20名(但し、1団体2名様以内とさせていただきます。)
※定員になり次第締め切らせていただきます。

参加要領 下記申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてお送り下さい。
後日、参加券をFAXにて送信いたします。
電話予約も承りますが、後ほど必ず申込書をFAXにてお送り下さい。

お申込・お問合せ
一般社団法人日本経営協会 中部本部 公務協力グループ
〒461-0005 名古屋市東区東桜1-13-3 NHK名古屋放送センタービル10階
TEL(052)957-4173 FAX(052)952-7418
NOMA中部本部オリジナルサイト <http://noma-chubu.jp/>
※お電話での問い合わせは、平日(9:15~17:15)にお願いいたします。



【JR・名鉄・近鉄の名古屋駅より】
地下鉄東山線(4分)栄駅より徒歩5分
地下鉄桜通線(5分)久屋大通駅より徒歩8分
【中部国際空港より】
名鉄(25分)金山駅(乗換)地下鉄名城線(7分)栄駅より徒歩5分
名鉄(25分)金山駅(乗換)地下鉄名城線(7分)栄駅より徒歩5分
※地下鉄駅からは、地下街、オアシス21経由でNHKビルに直通

一般社団法人日本経営協会 中部本部 公務協力G行 FAX 052-952-7418
9月24日開催 職員研修の講師・内容説明会:参加申込書 令和元年 月 日

(フリガナ) 貴団体名	-----	TEL() -
(フリガナ) 所在地	〒	FAX() -
参加者ご芳名(フリガナ)	ご所属・お役職名	ご派遣者(ご連絡担当) ・ご芳名 ・ご所属 ・お役職

*お申込後、ご派遣者様宛に参加券をFAXにて送信いたしますので、ご派遣者欄には必ずご記入願います。

*ご記入いただいた情報は、以下の目的に使用させていただきます。

①参加券発送などの事務処理及び説明会の運営 ②本会公務協力事業のご案内
なお、②がご不要な場合は右記□欄にチェックしてください。 □不要

【この面をそのままFAXしてください】